

肝臓が悪いと言われたら？

可能性のある疾患

● お酒を一日平均
3合以上飲む人



アルコール性肝障害

● 輸血, 手術を受け
たことがある人



ウイルス性肝炎(B型, C型)

● 肥満, 糖尿病,
高脂血症のある人



脂肪肝

● リウマチや膠原病の
ある人



自己免疫性肝障害

B型肝炎

大人になってからの感染



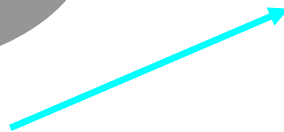
- 急性肝炎を発病するがほとんどは治癒する
- 慢性化することはまれ

生まれた時に
母親から感染
(キャリア)

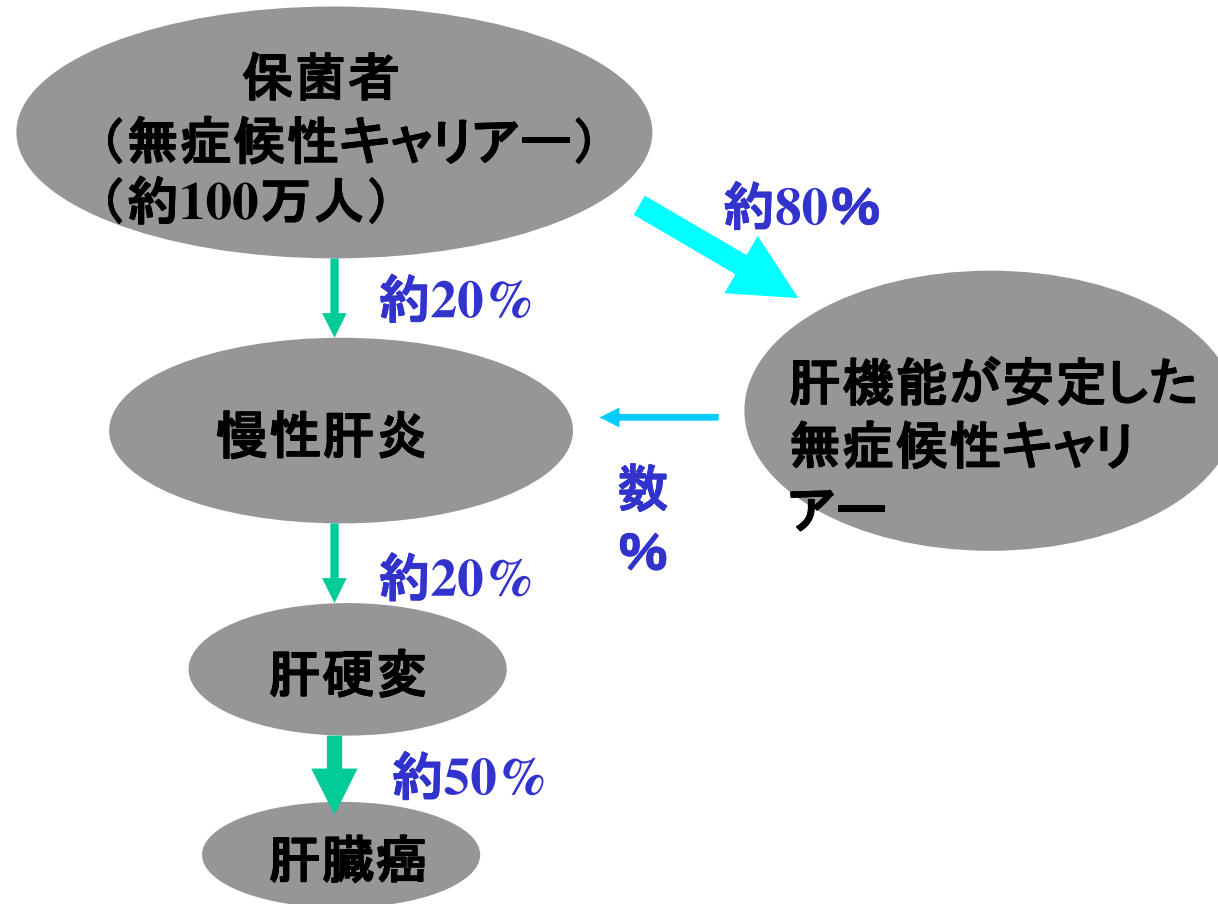


- 子供は免疫が発達していないためB型肝炎ウイルス保菌者(キャリア)になる

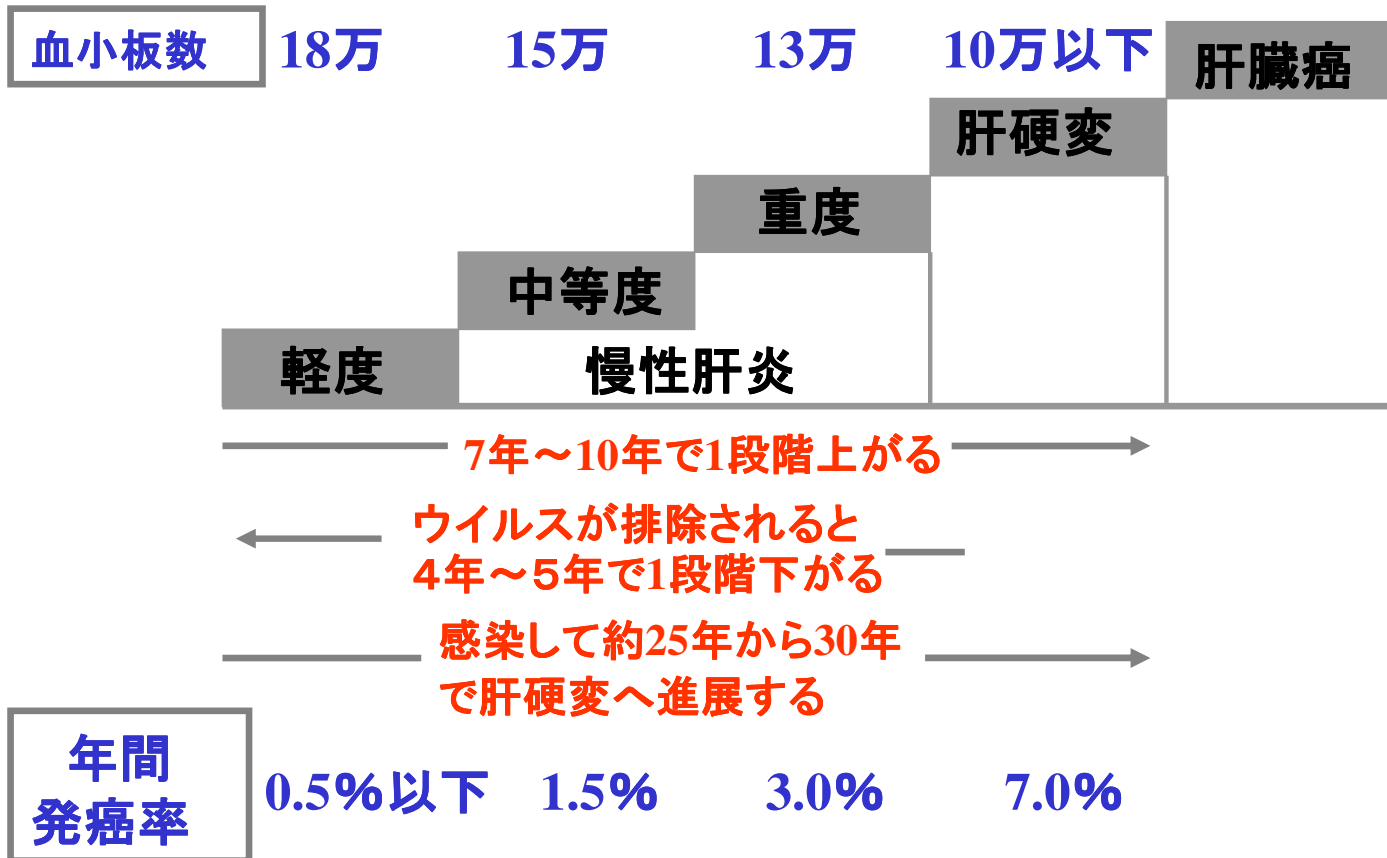
3歳までの感染



B型肝炎の進展



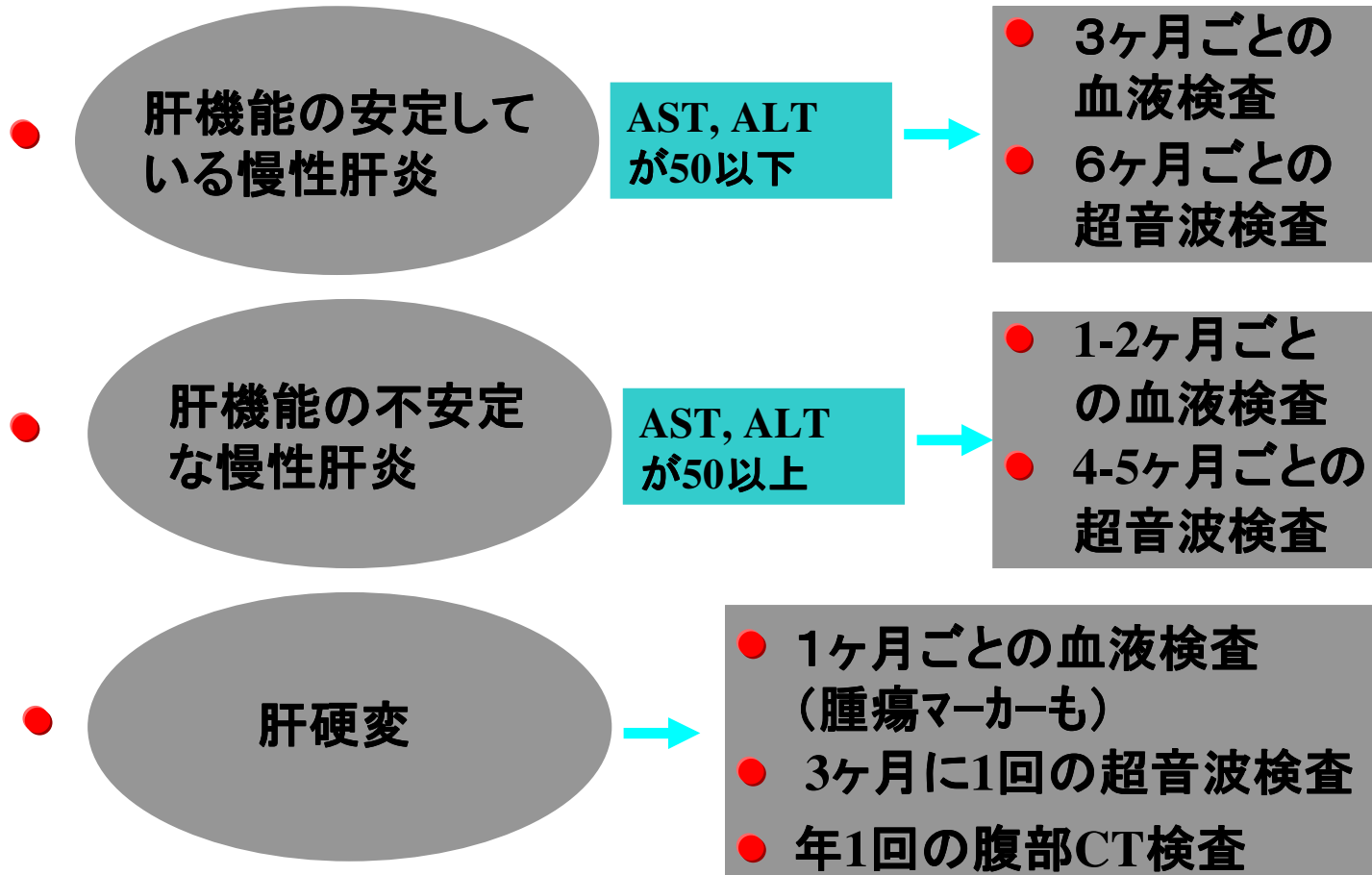
C型慢性肝炎の経過



なぜ肝臓病の検査や治療が必要なのか？

- 肝臓病はかなり進行するまで症状が出ないので、検査をしないと、診断ができない。
- 治療の目的は、肝硬変や肝臓癌へ進展するのを防ぐこと。
- 早期に診断し、治療すれば回復するものも多い。
- 肝硬変にまで進行しても、治療によって安定した状態を保てることが多い。また治療可能な段階で肝臓癌を発見できることが多い。

肝臓病の検査の必要性



慢性肝炎の治療

- **無治療・経過観察**

肝機能正常，肝硬変まで進展していない患者。3～6ヶ月に1回は血液検査，1年に1～2回は超音波が必要。

- **抗ウイルス療法＝完全治癒をめざす治療**

1. インターフェロン(注射)：C型肝炎の約30%は完全治癒。

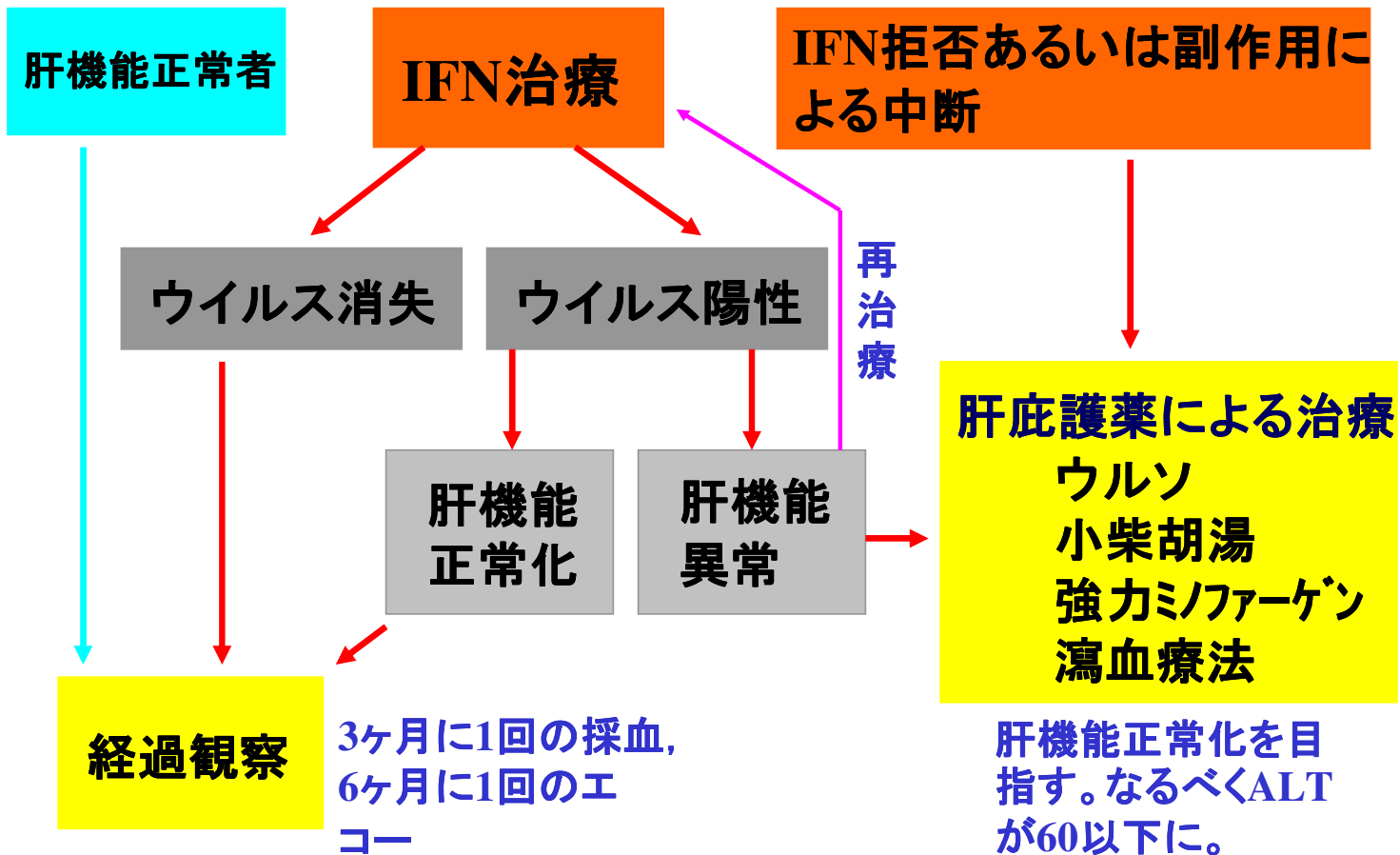
2. インターフェロン(注射)＋リバビリン(飲み薬)：C型肝炎の約50%が完全治癒(2004年11月から週1回の方法が認可予定)

3. ラミブジン(B型肝炎に対する飲み薬)：完全治癒は難しいが、ウイルスを減らし、肝機能を改善させる。

- **肝庇護療法＝肝硬変への進展を防ぐ治療**

ウルソ，小柴胡湯，強力ミノファーゲンC(注射)などで肝機能の正常化を目標とする。少なくともならAST, ALTを60以下にする。

慢性肝炎の治療



慢性肝炎患者の注意点

1. 安静

- ・過度の安静は不要。適度な運動(特に散歩)を行う。
- ・食事の直後の運動や入浴は避ける。
- ・AST, ALTが200 IU/l 以上の場合には安静が必要。

2. 食事

- ・特に高タンパク食にはこだわらず、バランスよく食べる。脂肪は取り過ぎない。食物繊維や野菜を多くとる。
- ・基本的にはアルコールは禁止。肝機能が安定している患者では、時々、1合以内なら可能。
- ・肝硬変患者では塩分を控える。肝性脳症の場合はタンパクを制限するなど、特別な食事指導が必要。

3. 感染予防

- ・B型肝炎患者の配偶者にはワクチン接種(抗体がない場合)。
- ・自分の血液、体液の付いたものは自分で処理する。
- ・輸血や献血はしないこと。